

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年6月27日(2019.6.27)

【公表番号】特表2018-521976(P2018-521976A)

【公表日】平成30年8月9日(2018.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2018-030

【出願番号】特願2017-561797(P2017-561797)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2018.01)
C 1 2 Q	1/04	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
A 6 1 P	13/10	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/06	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/574	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	1 0 1
C 1 2 Q	1/02	Z N A
C 1 2 Q	1/68	A
C 1 2 Q	1/68	Z
C 1 2 Q	1/04	
C 0 7 K	16/28	
A 6 1 P	13/10	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 K	45/06	
A 6 1 P	35/04	
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 K	39/395	E
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/574	

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月27日(2019.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

膀胱がん罹患している患者を治療するための医薬であって、治療有効量のPD-L1

軸結合アンタゴニストを含み、前記患者から得られた腫瘍試料が、前記腫瘍試料中の約1%以上を構成する腫瘍浸潤免疫細胞においてPD-L1の検出可能な発現レベルを有すると判定されている、医薬。

【請求項2】

治療有効量のPD-L1軸結合アンタゴニストを投与された患者の全生存期間の中央値が、少なくとも8カ月であり、任意選択的に治療有効量のPD-L1軸結合アンタゴニストを投与された患者の全生存期間の中央値が、少なくとも約8.8カ月である、請求項1に記載の医薬。

【請求項3】

治療有効量のPD-L1軸結合アンタゴニストを投与された患者の奏効率が、少なくとも約12%又は約21%であり、任意選択的に治療有効量のPD-L1軸結合アンタゴニストを投与された患者の奏効率が、約18%である、請求項1または2に記載の医薬。

【請求項4】

前記患者から得られた前記腫瘍試料が、前記腫瘍試料の約5%以上を構成する腫瘍浸潤免疫細胞においてPD-L1の検出可能な発現レベルを有すると判定されている、請求項1に記載の医薬。

【請求項5】

治療有効量のPD-L1軸結合アンタゴニストを投与された患者の全生存期間の中央値が、少なくとも約9カ月または約11カ月である、請求項4に記載の医薬。

【請求項6】

治療有効量のPD-L1軸結合アンタゴニストを投与された患者の奏効率が、少なくとも約14%または約25%であり、任意選択的に治療有効量のPD-L1軸結合アンタゴニストを投与された患者の奏効率が、約27%である、請求項4または5に記載の医薬。

【請求項7】

前記患者から得られた前記腫瘍試料が、前記腫瘍試料の約10%以上を構成する腫瘍浸潤免疫細胞においてPD-L1の検出可能な発現レベルを有すると判定されている、請求項4に記載の医薬。

【請求項8】

前記患者から得られた前記腫瘍試料が、ルミナルサブタイプ腫瘍であると判定されている、請求項1～7のいずれか1項に記載の医薬。

【請求項9】

膀胱がんに罹患している患者を治療するための医薬であって、治療有効量のPD-L1軸結合アンタゴニストを含み、前記患者から得られた腫瘍試料が、ルミナルサブタイプ腫瘍であると判定されている、医薬。

【請求項10】

(a) 前記患者から得られた前記腫瘍試料中のCDKN2A、GATA3、FOXA1、及びERBB2のうち少なくとも1つの発現レベルが、少なくとも1つの遺伝子の参照レベルと比べて増加したと判定され、かつ/または

(b) 前記患者から得られた前記腫瘍試料中のFGFR3、KRT5、KRT14、及びEGFRのうち少なくとも1つの発現レベルが、前記少なくとも1つの遺伝子の参照レベルと比べて減少したと判定されている、請求項8または9に記載の医薬。

【請求項11】

(a) 前記患者から得られた前記腫瘍試料中のCDKN2A、GATA3、FOXA1、及びERBB2の発現レベルが、前記遺伝子の参照レベルと比べて増加したと判定され、かつ/または

(b) 前記患者から得られた前記腫瘍試料中のFGFR3、KRT5、KRT14、及びEGFRの発現レベルが、前記遺伝子の参照レベルと比べて減少したと判定されている、請求項10に記載の医薬。

【請求項12】

(a) 前記患者から得られた前記腫瘍試料中のCDKN2A、GATA3、FOXA1

、及び E R B B 2 の発現レベルが、前記遺伝子の参照レベルと比べて増加したと判定され、かつ

(b) 前記患者から得られた前記腫瘍試料中の F G F R 3 、 K R T 5 、 K R T 1 4 、及び E G F R の発現レベルが、前記遺伝子の参照レベルと比べて減少したと判定されている、請求項 1 1 に記載の医薬。

【請求項 1 3】

前記患者から得られた前記腫瘍試料中の m i R - 9 9 a - 5 p または m i R 1 0 0 - 5 p の発現レベルが、マイクロ RNA (m i R N A) の参照レベルと比べて増加したと判定されており、任意選択的に前記患者から得られた前記腫瘍試料中の m i R - 9 9 a - 5 p 及び m i R 1 0 0 - 5 p の発現レベルが、前記 m i R N A の参照レベルと比べて増加したと判定されている、請求項 8 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 1 4】

前記患者から得られた前記腫瘍試料中の C D 8 A 、 G Z M A 、 G Z M B 、 I F N G 、 C X C L 9 、 C X C L 1 0 、 P R F 1 、及び T B X 2 1 のうちの少なくとも 1 つの発現レベルが、少なくとも 1 つの遺伝子の参照レベルと比べて増加したと判定されており、任意選択的に前記患者から得られた前記腫瘍試料中の少なくとも C X C L 9 及び C X C L 1 0 の発現レベルが、前記遺伝子の参照レベルと比べて増加したと判定されている、請求項 8 ~ 1 3 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 1 5】

前記ルミナルサブタイプ腫瘍が、ルミナルクラスター II サブタイプ腫瘍である、請求項 8 ~ 1 4 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 1 6】

P D - L 1 軸結合アンタゴニストが、P D - L 1 結合アンタゴニスト、P D - 1 結合アンタゴニスト、及び P D - L 2 結合アンタゴニストからなる群から選択される、請求項 1 ~ 1 5 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 1 7】

P D - L 1 軸結合アンタゴニストが、P D - L 1 結合アンタゴニストである、請求項 1 6 に記載の医薬。

【請求項 1 8】

P D - L 1 結合アンタゴニストが、P D - L 1 の、1 またはそれ以上のそのリガンド結合パートナーへの結合を阻害し、任意選択的に P D - L 1 結合アンタゴニストが、P D - L 1 の、P D - 1 、 B 7 - 1 、または P D - 1 および B 7 - 1 の両方への結合を阻害する、請求項 1 7 に記載の医薬。

【請求項 1 9】

P D - L 1 結合アンタゴニストが抗体である、請求項 1 7 または 1 8 に記載の医薬。

【請求項 2 0】

(i) 抗体が、アテゾリズマブ (M P D L 3 2 8 0 A) 、 Y W 2 4 3 . 5 5 . S 7 0 、 M D X - 1 1 0 5 、 M E D I 4 7 3 6 (デュルバルマブ) 、および M S B 0 0 1 0 7 1 8 C (アベルマブ) からなる群から選択され；

(i i) 抗体が、配列番号 1 9 の H V R - H 1 配列、配列番号 2 0 の H V R - H 2 配列、及び配列番号 2 1 の H V R - H 3 配列を含む重鎖、ならびに配列番号 2 2 の H V R - L 1 配列、配列番号 2 3 の H V R - L 2 配列、及び配列番号 2 4 の H V R - L 3 配列を含む軽鎖を含み；または

(i i i) 抗体が、配列番号 2 5 のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域および配列番号 4 のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域を含む、請求項 1 9 に記載の医薬。

【請求項 2 1】

P D - L 1 軸結合アンタゴニストが P D - 1 結合アンタゴニストである、請求項 1 6 に記載の医薬。

【請求項 2 2】

PD - 1 結合アンタゴニストが、PD - 1 の、1 またはそれ以上のそのリガンド結合パートナーへの結合を阻害し、任意選択的に PD - 1 結合アンタゴニストが、PD - 1 の、PD - L 1、PD - L 2、または PD - L 1 および PD - L 2 の両方への結合を阻害する、請求項 2 1 に記載の医薬。

【請求項 2 3】

PD - 1 結合アンタゴニストが抗体である、請求項 2 1 または 2 2 に記載の医薬。

【請求項 2 4】

抗体が、MDX - 1 1 0 6 (ニボルマブ)、MK - 3 4 7 5 (ペンブロリズマブ)、MED I - 0 6 8 0 (AMP - 5 1 4)、PDR 0 0 1、REGN 2 8 1 0、及び BGBB - 1 0 8 からなる群から選択される、請求項 2 3 に記載の医薬。

【請求項 2 5】

PD - 1 結合アンタゴニストが、Fc 融合タンパク質であり、任意選択的に Fc 融合タンパク質が、AMP - 2 2 4 である、請求項 2 1 または 2 2 に記載の医薬。

【請求項 2 6】

有効量の第 2 の治療剤との組み合わせでの患者への投与のために製剤化されている、請求項 1 ~ 2 5 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 2 7】

第 2 の治療剤が、細胞毒性剤、成長阻害剤、放射線療法剤、血管新生阻害剤、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 2 6 に記載の医薬。

【請求項 2 8】

膀胱がんが、尿路上皮膀胱がんである、請求項 1 ~ 2 7 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 2 9】

(i) 尿路上皮膀胱がんが、転移性尿路上皮膀胱がんである；または
(i i) 尿路上皮膀胱がんが、局所進行性尿路上皮膀胱がんである
請求項 2 8 に記載の医薬。

【請求項 3 0】

患者が、白金ベースの化学療法剤での治療後に前進している、請求項 1 ~ 2 9 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 3 1】

腫瘍試料が、ホルマリン固定及びパラフィン包埋 (FFPE) 腫瘍試料、保管用腫瘍試料、新鮮腫瘍試料、または凍結腫瘍試料である、請求項 1 ~ 3 0 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 3 2】

(i) PD - L 1 の発現レベルが、タンパク質の発現レベルであり、任意選択的に PD - L 1 のタンパク質の発現レベルが、免疫組織化学 (IHC)、免疫蛍光法、フローサイトメトリー、及びウェスタンブロットからなる群から選択される方法を使用して判定され、さらに任意選択的に PD - L 1 のタンパク質発現レベルが、抗 PD - L 1 抗体を使用して検出される；または

(i i) PD - L 1 の発現レベルが、mRNA 発現レベルであり、任意選択的に PD - L 1 の mRNA 発現レベルが、定量的ポリメラーゼ連鎖反応 (qPCR)、逆転写 qPCR (RT - qPCR)、RNA 配列決定、マイクロアレイ分析、インサイツハイブリダイゼーション、及び遺伝子発現の逐次分析法 (SAGE) からなる群から選択される方法を使用して判定される

請求項 1 ~ 8 及び 1 6 ~ 3 1 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 3 3】

膀胱がんに罹患している患者が、PD - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療に応答する可能性が高いかどうかを判定するための、または膀胱がんに罹患している患者の、PD - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療への応答性を予測するための方法であって、
前記患者から得られた腫瘍試料中の腫瘍浸潤免疫細胞における PD - L 1 の発現レベルを判定することを含み、

前記腫瘍試料の約 1 % 以上を構成する腫瘍浸潤免疫細胞における PD - L 1 の検出可能な発現レベルが、前記患者が PD - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療に応答する可能性が高いことを示す、方法。

【請求項 3 4】

膀胱がんに罹患している患者のための療法を選択する方法であって、

前記患者から得られた腫瘍試料中の腫瘍浸潤免疫細胞における PD - L 1 の発現レベルを判定することと、

前記腫瘍試料の約 1 % 以上を構成する腫瘍浸潤免疫細胞における PD - L 1 の検出可能な発現レベルに基づいて、前記患者のための PD - L 1 軸結合アンタゴニストを含む療法を選択することと、を含む、前記方法。

【請求項 3 5】

前記患者から得られた前記腫瘍試料が、前記腫瘍試料の約 5 % 以上を構成する腫瘍浸潤免疫細胞において PD - L 1 の検出可能な発現レベルを有すると判定されている、請求項 3 3 または 3 4 に記載の方法。

【請求項 3 6】

前記患者から得られた前記腫瘍試料が、前記腫瘍試料の少なくとも約 10 % を構成する腫瘍浸潤免疫細胞において PD - L 1 の検出可能な発現レベルを有すると判定されている、請求項 3 5 に記載の方法。

【請求項 3 7】

膀胱がんに罹患している患者が、PD - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療に応答する可能性が高いかどうかを判定するための、または膀胱がんに罹患している患者の、PD - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療への応答性を予測するための方法であって、

前記患者から得られた腫瘍試料から、前記腫瘍のサブタイプを判定することを含み、ルミナルサブタイプ腫瘍が、前記患者が PD - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療に応答する可能性が高いことを示す、方法。

【請求項 3 8】

膀胱がんに罹患している患者のための療法を選択するための方法であって、

前記患者から得られた腫瘍試料から、前記腫瘍のサブタイプを判定することと、

前記腫瘍がルミナルサブタイプ腫瘍であるという判定に基づいて、前記患者のための PD - L 1 軸結合アンタゴニストを含む療法を選択することと、を含む、方法。

【請求項 3 9】

前記 PD - L 1 軸結合アンタゴニストが、PD - L 1 結合アンタゴニスト、PD - 1 結合アンタゴニスト、及び PD - L 2 結合アンタゴニストからなる群から選択される、請求項 3 3 ~ 3 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 4 0】

前記 PD - L 1 軸結合アンタゴニストが、PD - L 1 結合アンタゴニストである、請求項 3 9 に記載の方法。

【請求項 4 1】

前記 PD - L 1 結合アンタゴニストが、PD - L 1 の、1 またはそれ以上の、そのリガンド結合パートナーへの結合を阻害し、任意選択的に PD - L 1 結合アンタゴニストが、PD - L 1 の、PD - 1、B 7 - 1、または PD - 1 および B 7 - 1 の両方への結合を阻害する、請求項 4 0 に記載の方法。

【請求項 4 2】

前記 PD - L 1 結合アンタゴニストが、抗体である、請求項 4 0 または 4 1 に記載の方法。

【請求項 4 3】

(i) 抗体が、アテゾリズマブ (M P D L 3 2 8 0 A)、Y W 2 4 3 . 5 5 . S 7 0、M D X - 1 1 0 5、M E D I 4 7 3 6 (デュルバルマブ)、及び M S B 0 0 1 0 7 1 8 C (アベルマブ) からなる群から選択され；

(i i) 抗体が、配列番号 1 9 の H V R - H 1 配列、配列番号 2 0 の H V R - H 2 配列

、及び配列番号 2 1 の H V R - H 3 配列を含む重鎖、ならびに配列番号 2 2 の H V R - L 1 配列、配列番号 2 3 の H V R - L 2 配列、及び配列番号 2 4 の H V R - L 3 配列を含む軽鎖を含み；または

(i i i) 抗体が、配列番号 2 5 のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域および配列番号 4 のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域を含む、
請求項 4 2 に記載の方法。

【請求項 4 4】

P D - L 1 軸結合アンタゴニストが、P D - 1 結合アンタゴニストである、請求項 3 9 に記載の方法。

【請求項 4 5】

前記 P D - 1 結合アンタゴニストが、P D - 1 の、1 またはそれ以上の、そのリガンド結合パートナーへの結合を阻害し、任意選択的に P D - 1 結合アンタゴニストが、P D - 1 の、P D - L 1、P D - L 2、または P D - L 1 および P D - L 2 の両方への結合を阻害する、請求項 4 4 に記載の方法。

【請求項 4 6】

前記 P D - 1 結合アンタゴニストが、抗体である、請求項 4 4 または 4 5 に記載の方法。

【請求項 4 7】

前記抗体が、M D X - 1 1 0 6 (ニボルマブ)、M K - 3 4 7 5 (ペンプロリズマブ)、M E D I - 0 6 8 0 (A M P - 5 1 4)、P D R 0 0 1、R E G N 2 8 1 0、及び B G B - 1 0 8 からなる群から選択される、請求項 4 6 に記載の方法。

【請求項 4 8】

前記 P D - 1 結合アンタゴニストが、F c 融合タンパク質であり、任意選択的に F c 融合タンパク質が、A M P - 2 2 4 である、請求項 4 4 または 4 5 に記載の方法。

【請求項 4 9】

P D - L 1 軸結合アンタゴニストが、有効量の第 2 の治療剤との組み合わせでの患者への投与のために製剤化されている、請求項 3 3 ~ 4 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5 0】

前記第 2 の治療剤が、細胞毒性剤、成長阻害剤、放射線療法剤、血管新生阻害剤、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される、請求項 4 9 に記載の方法。

【請求項 5 1】

前記膀胱がんが、尿路上皮膀胱がんである、請求項 3 3 ~ 5 0 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5 2】

(i) 尿路上皮膀胱がんが、転移性尿路上皮膀胱がんである；または
(i i) 尿路上皮膀胱がんが、局所進行性尿路上皮膀胱がんである
請求項 5 1 に記載の方法。

【請求項 5 3】

前記患者が、白金ベースの化学療法剤での治療後に前進している、請求項 3 3 ~ 5 2 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5 4】

前記腫瘍試料が、ホルマリン固定及びパラフィン包埋 (F F P E) 腫瘍試料、保管用腫瘍試料、新鮮腫瘍試料、または凍結腫瘍試料である、請求項 3 3 ~ 5 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5 5】

(i) P D - L 1 の発現レベルが、タンパク質発現レベルであり、任意選択的に P D - L 1 のタンパク質発現レベルが、免疫組織化学 (I H C)、免疫蛍光法、フローサイトメトリー、及びウェスタンブロットからなる群から選択される方法を使用して判定され、さらに任意選択的に P D - L 1 のタンパク質発現レベルが、抗 P D - L 1 抗体を使用して検出される；または

(i i) P D - L 1 の発現レベルが、m R N A 発現レベルであり、任意選択的に P D - L 1 の m R N A 発現レベルが、定量的ポリメラーゼ連鎖反応 (q P C R)、逆転写 q P C R (R T - q P C R)、R N A 配列決定、マイクロアレイ分析、インサイツハイブリダイゼーション、及び遺伝子発現の逐次分析法 (S A G E) からなる群から選択される方法を使用して判定される、請求項 3 3 ~ 3 6 及び 3 9 ~ 5 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5 6】

膀胱がんに罹患している患者の治療方法における使用のための医薬品の製造における有効量の P D - L 1 軸結合アンタゴニストの使用であって、前記患者から得られた腫瘍試料が、前記腫瘍試料の約 1 % 以上を構成する腫瘍浸潤免疫細胞において P D - L 1 の検出可能な発現レベルを有すると判定されている、使用。

【請求項 5 7】

膀胱がんに罹患している患者の治療方法における使用のための有効量の P D - L 1 軸結合アンタゴニストを含む組成物であって、前記患者から得られた腫瘍試料が、前記腫瘍試料の約 1 % 以上を構成する腫瘍浸潤免疫細胞において P D - L 1 の検出可能な発現レベルを有すると判定されている、組成物。

【請求項 5 8】

膀胱がんに罹患している患者が、P D - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療に応答する可能性が高いかどうかを判定するための、または膀胱がんに罹患している患者の、P D - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療への応答性を予測するためのキットであって、前記患者から得られた腫瘍試料中の腫瘍浸潤免疫細胞における P D - L 1 の発現レベルを判定するための手段を含み、

前記腫瘍試料の約 1 % 以上を構成する腫瘍浸潤免疫細胞における P D - L 1 の検出可能な発現レベルが、前記患者が P D - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療に応答する可能性が高いことを示す、キット。

【請求項 5 9】

膀胱がんに罹患している患者のための療法を選択するためのキットであって、患者から得られた腫瘍試料中の腫瘍浸潤免疫細胞における P D - L 1 の発現レベルを判定するための手段を含み、

P D - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療が、前記腫瘍試料の約 1 % 以上を構成する腫瘍浸潤免疫細胞における P D - L 1 の検出可能な発現レベルに基づいて、前記患者のために選択される、キット。

【請求項 6 0】

膀胱がんに罹患している患者が、P D - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療に応答する可能性が高いかどうかを判定するための、または膀胱がんに罹患している患者の、P D - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療への応答性を予測するためのキットであって、前記患者から得られた腫瘍試料から、前記腫瘍のサブタイプを判定するための手段を含み、

ルミナルサブタイプ腫瘍が、前記患者が P D - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療に応答する可能性が高いことを示す、キット。

【請求項 6 1】

膀胱がんに罹患している患者のための療法を選択するためのキットであって、前記患者から得られた腫瘍試料から腫瘍のサブタイプを判定するための手段を含み、P D - L 1 軸結合アンタゴニストを含む治療が、腫瘍がルミナルサブタイプ腫瘍であるという判定に基づいて患者のために選択される、キット。

【請求項 6 2】

治療有効量の P D - L 1 軸結合アンタゴニストが、腫瘍試料中の腫瘍浸潤免疫細胞における P D - L 1 の発現レベルに基づいてさらに投与される、請求項 5 8 ~ 6 1 のいずれか 1 項に記載のキット。

专利名称(译)	癌症的治疗方法和诊断方法		
公开(公告)号	JP2018521976A5	公开(公告)日	2019-06-27
申请号	JP2017561797	申请日	2016-05-27
[标]申请(专利权)人(译)	健泰科生物技术公司		
申请(专利权)人(译)	Genentech公司		
[标]发明人	ヘッジプリティ コワネッツマルチン フィーネグレッグ マリアザサンサンジーヴ ブルゴンリチャード		
发明人	ヘッジ, プリティ コワネッツ, マルチン フィーネ, グレッグ マリアザサン, サンジーヴ ブルゴン, リチャード		
IPC分类号	A61K45/00 C12Q1/02 C12Q1/68 C12Q1/04 C07K16/28 A61P13/10 A61P35/00 A61P43/00 A61K45/06 A61P35/04 A61K39/395 G01N33/53 G01N33/574		
CPC分类号	A61P13/10 A61P35/00 A61P35/04 A61P43/00 C12Q1/6886 C12Q2600/106 C12Q2600/158 A61K2039 /505 C07K16/2827 C07K2317/24 C07K2317/76 C07K2319/30 C12Q2600/178 G01N33/57407 G01N2333/70532 G01N2800/52		
FI分类号	A61K45/00.101 C12Q1/02.ZNA C12Q1/68.A C12Q1/68.Z C12Q1/04 C07K16/28 A61P13/10 A61P35 /00 A61P43/00.111 A61K45/06 A61P35/04 A61K39/395.T A61K39/395.E G01N33/53.D G01N33/53.M G01N33/574		
F-TERM分类号	4B063/QA01 4B063/QA05 4B063/QA19 4B063/QQ03 4B063/QQ08 4B063/QQ79 4B063/QR48 4B063 /QR72 4B063/QR77 4B063/QS25 4B063/QS33 4B063/QS34 4B063/QS36 4B063/QX02 4C084/AA17 4C084/AA19 4C084/AA20 4C084/MA17 4C084/MA24 4C084/MA37 4C084/MA38 4C084/MA56 4C084 /MA59 4C084/MA66 4C084/NA05 4C084/NA14 4C084/ZA811 4C084/ZA812 4C084/ZB261 4C084 /ZB262 4C084/ZC751 4C084/ZC752 4C085/AA13 4C085/AA14 4C085/BB01 4C085/BB11 4C085 /BB33 4C085/BB34 4C085/BB35 4C085/BB36 4C085/BB37 4C085/BB41 4C085/BB42 4C085/BB43 4C085/CC02 4C085/DD61 4C085/EE01 4C085/EE03 4C085/GG01 4C085/GG02 4C085/GG03 4C085 /GG04 4C085/GG06 4H045/AA11 4H045/AA30 4H045/CA40 4H045/DA76 4H045/EA22 4H045/EA28 4H045/FA74		
优先权	62/168669 2015-05-29 US 62/301599 2016-02-29 US		
其他公开文献	JP2018521976A		

摘要(译)

本发明提供用于癌症(例如膀胱癌)的治疗和诊断方法和组合物。本发明涉及一种治疗膀胱癌的方法,一种确定患有膀胱癌的患者是否可能对包含PD-L1轴结合拮抗剂的治疗有反应的方法,一种确定患有膀胱癌的患者的一种用于预测对治疗的响应性的方法,包括患者的PD-L1轴结合拮抗剂和用于预测本发明的生物标志物对生物标志物的表达水平的响应性的方法(例如,PD-L1表达水平)和/或基于肿瘤样品亚型的确定,选择对患有膀胱癌的患者进行治疗。【选择图】无

